

評価部会

評価部会では今年度、
「学園評価アンケート」内容の見直しの準備を進めてきました。
来年度は新しいアンケートが皆様のお手元に届きます。
よろしくお願いいたします。

コーディネート部会

今年度もサポート活動にご協力いただきありがとうございました。
子どもたちの笑顔がたえない 1 年になったと感じ ました。
また、来年度も漢字検定、算数・数学検定を実施します。是非、保護者や地域の皆さまも子どもたちとチャレンジしてみてください。お待ちしております。
●漢字検定（七中）令和 2 年 6 月 19 日(金)
●算数・数学検定（コミセン）令和 2 年 8 月 22 日(土)
※実施予定日ですのお手紙で確認をお願いいたします。
なお、中学生第 2 回漢字検定は 10 月末、小学生漢字検定 は 2 月 12 日実施予定です。

広報部会

今学期は『おおさわ学園カレンダー』・『CS ガイド』・『CS だより第 81 号』の発行に向けて作業してまいりました。
おおさわ学園カレンダーでは、地域のみなさま、学園の生徒・児童のみなさまのご協力をいただき、カレンダーを作成することができました。
ありがとうございました。



広報部会



☆CS 古本リサイクルにご協力お願い

『おおさわ学園 CS 古本リサイクル』では、

ご家庭でご不要になった本を随時募集し、学校図書館、学級に寄贈するほか、CS 古本市に活用させていただきます。古本市の売り上げで、学校図書館への寄贈本を購入します。

【持ち込み場所】

大沢台小、羽沢小、第七中の『図書館地域開放(土曜日 9:00~12:00)』

※学校図書館開放日はコミュニティ紙『おおさわ』でお知らせします。

小中学生向き良書。美品であれば、絵本・児童書・一般書・文庫本・マンガ・問題集・参考書・外国語絵本など を集めています。

協力：おおさわ学園 CS 古本リサイクル実行委員会



おおさわ学園コミュニティ・スクールだより

おおさわ学園 コミュニティ・スクール委員会 会長 三瓶恭子
http://mitaka-schools.jp/ohsawa/index.html
おおさわ学園 HP「地域・家庭」タグをクリック



成長を支える三つの力

おおさわ学園三鷹市立第七中学校 校長 勝野 能光

寒さがやわらいで暖かいと感じる日が増え、桜のつぼみも徐々にふくらみを見せています。今年度も保護者、地域の皆様には、おおさわ学園の教育活動にご理解とご支援を賜りまして誠にありがとうございました。

本年度のまとめとして、次の三つの観点から、一年間を振り返ってみたいと思います。それは、子どもたちが、本来もっている三つの力「からだの力」「考える力」「こころの力」をどのように伸ばすことができたかということです。

小・中学生は、育ち盛りですから、身長や体重などの体格は驚くほど伸びたことと思います。では、「からだの力」すなわち健康や体力、運動能力はどうでしょうか。これらはいうまでもなく、十分な栄養と適度な運動と休養で養われます。スポーツに親しむことも大切なことですが、何よりも規則的な生活習慣が大切です。学校評価アンケートを見ますと「楽しく学校へ通っている」は、92.5%「整理整頓ができ、忘れ物をしないように準備する習慣が身に付いている」は、80.9%「時間を守って行動する習慣が身に付いている」は、70.1%です。

次に「考える力」です。授業を大切にし、本をたくさん読み、疑問に思ったことを自分の頭で考え、その答えを見つける努力をすることが大切です。学校評価アンケートでは、「授業を通して学習の内容を理解している」は、80.2%「家庭学習（学年×10分）の習慣が身に付いている」は、64.3%「本をよく読んでいる」は、53.7%です。

三つ目は、「こころの力」です。美しいものを美しいと感じる心や自分と他人を大切にすることなどです。あいさつをしっかりしたり、ルールを守って生活したりすることでも養われていきます。また、積極的に様々な経験を積むことによって育てることができます。学校評価アンケートでは、「相手や場に応じたあいさつや言葉遣いが身に付いている」は、80.9%「いじめや暴力のない学校生活を送っている」は、89.0%「学校は、子どもたちや保護者の相談、起こった問題に対して適切に対応している」は、80.2%です。小・中学生のみなさん、保護者のみなさま、成長を振り返るための「三つの力」が、この一年間でどの程度大きくなったか、もう一度自分自身で、ご家族で振り返ってみてください。

さて、「竹は節ありて風雪に強し」ということわざがあります。竹は、節があるからこそ大雪などにあっても、折れてしまわないのです。人間も竹のように見えない節ができてきます。卒業や進級する今（環境が変わる時）などに節ができるのです。節目ともいいます。今、しっかりと振り返ることによって、人生の節目も竹の節ように強く、しなやかになるのです。新しい学年に進むに当たり、自分自身の節を強く、丈夫にしていってほしいと思います。

おおさわ学園 コミュニティ・スクール委員会

会長 三瓶恭子

4 月から執行部が入れ替わり不安を覚えながら、更にすでに子どもがおおさわ学園を離れている中で、会長という重責が担えるだろうかと、自問しながらのスタートでした。会を重ねていく中で、懐かしさと共に、完全中立の俯瞰する立場に置かれた今、子どもの在学中には見えていなかった眺めが感じられるようになり、思わぬ発見に少しずつ楽しめるようになってきました。会長就任後は他の学園の様子を知る機会が増えましたが、素直なおおさわ学園の子どもたちの良さや、各ご家庭の協力理解、学園発足以前からあった地域からの力を得る土壌など、恵まれた環境を今更ながらに感じます。私が外から学園を眺める機会に触れたことで感じたように、子どもたちもおおさわ学園に育っている現在は気づかずにいても、外の世界に触れたとき、ここで育ったことに喜びを見出してもらえたら嬉しいです。

今年度初めの CS だよりで、「地球の中の日本の東京に住む、三鷹のおおさわ学園に学ぶ自分を再発見し、大きな視野を持つ社会人へと成長してください。」と書きましたが、大きな世界から自分を把握することがさらに人を成長させ、大きくします。若い子どもたちの世界はどこまでも広がります。その成長のお手伝いを皆様と担っていきたいです。

今年度は、前執行部からの引継ぎ事項であった「おおさわ学園実行プラン」の作成がようやく実現し、私たちの活動のよりどころができたように感じます。来年度はこれに基づき、「学園・学校アンケート」の練り直しをしていこうと思っています。引き続き皆様のご協力をお願いします。